

# 平成29年度 学校自己評価システムシート ( 県立熊谷高等学校 定時制課程)

目指す学校像	自ら考え、判断し、目標に向かい着実に努力するとともに、他者への思いやりの心を持った心豊かな生徒を育てる学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 わかる授業に徹し、基礎学力の充実を図る。</li> <li>2 生徒理解を深め、学校生活への適応指導を充実する。</li> <li>3 積極的な情報発信、外部機関との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>4 安全・安心な学校づくりに努める。</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 3 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習意欲が不足する生徒が多いため、生徒の意欲を引き出す工夫が必要である。</li> <li>学力差が大きいため、生徒の実態に合わせたわかりやすい授業を行い、全員の学力を高める工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善を始めとして、学力向上に関する取組を推進する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ICTやアクティブラーニングなどを取り入れ、生徒の実態に合わせた授業を展開する。</li> <li>② 学習サポーターや基礎学力テスト等を活用するとともに、個別指導等のきめ細かな指導で全員を伸ばす授業を実現する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の興味・関心を惹くことができたか。生徒の実態に合った授業が実施出来たか。</li> <li>② 基礎学力テスト等の結果が向上したか。各学期の成績優良者が増え、成績不振者が減少したか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 理数教科を中心に、ICTを活用した授業、ジクソー法や実験を取り入れた公開授業を行った。</li> <li>② 基礎学力テストを数学の授業で実施、成果の検証を行っている。学習サポーターを1・2年生の授業を中心に配置した。</li> </ol>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に興味・関心をもたせる授業工夫により、不登校による長欠者は減少したが、2学期は成績優良者増加、成績不振者減少には至らなかった。特に1年生1学期の基礎学力定着・学習習慣の確立が課題である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生徒が在籍しており、基本的な生活習慣や授業規律、規範意識等を身に付けさせる必要がある。</li> <li>様々な発達段階での障害を持つ生徒がいる現状を踏まえ、集団生活への適応指導を実施する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の状況に応じた指導、生徒理解に基づく指導を組織的に推進する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 個別指導や各学期の個人面談を行い、保護者との連携を推進するとともに、生徒に適した助言や適応指導を行う。</li> <li>② スクールカウンセラー、就職支援アドバイザー等と連携し、教育相談的手法により適切な指導を実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 保護者と連携し、欠席・遅刻が多い生徒の指導ができたか。授業規律は守れるようになったか。</li> <li>② カウンセラー等を活用し、適切な指導が実施できたか。また、進路希望を実現させることができたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 進級・卒業が危ぶまれる生徒は、担任がまめに保護者と連絡を行った。チャイム始業、号令・点呼の徹底をさせることができた。</li> <li>② SCとの連携を強化し、困難を抱える生徒の担任へのアドバイスを行った。進路希望実現に向け、継続的に指導をしている。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の協力もあり、長期欠席していた生徒も2学期には登校するようになった。次年度は困難を抱える生徒を多面的に支援するため、生徒情報を共有するとともに、特別支援教育の視点を取り入れていきたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の定時制について、正しく理解されていない部分がある。正しい理解を得られるよう多くの情報を発信する必要がある。</li> <li>保護者や地域との連携が必ずしも十分とは言えない。学校行事を充実させ、保護者等の参加を促す必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等による情報発信と学校行事への保護者等の参加を積極的に推進する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 定時制のホームページや熊定だよりを活用し、最新の情報を発信する。</li> <li>② 学校行事等の案内を保護者に通知し、来校の機会を整える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ホームページの更新を60回以上行ったか。熊定だよりを4回以上発行し、公共施設等に配布したか。</li> <li>② 各行事への保護者の参加は増えたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ホームページ更新は67回行った。熊定だよりは季刊を3回、週刊を13回配付した。(継続発行予定)</li> <li>② 保護者にPTA総会、給食試食会、授業見学会、給食感謝祭の参加を呼びかけ、延べ16名が来校した。</li> </ol>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員会、評価懇話会に定時制PTA会長、生徒会正副会長が出席し、定時制課程への理解を広めた。一方学校行事・公開授業などの保護者・外部の参加を今年度以上に促していく。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育関係の施設・設備の安全維持と共に、自校給食実施校として、衛生面でも安全・安心の確保が重要である。設備の点検を確実に行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全、安心な学校づくりのため確実な点検・安全確保の取組を推進する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 日常の教室等の点検や薬剤師による給食室の点検等、巡視や点検を確実にし、修繕が必要な箇所に迅速に対応する。</li> <li>② 衛生上の確認と毎日の検食を確実にを行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 安全な学習、給食環境等を実現できたか。</li> <li>② 衛生上の確認と毎日の検食は、予定通り実施できたか。また、異物の混入はないか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 管理職による授業巡回を行い、生徒の状態観察と施設の汚破損を確認、安全と清潔を維持した。</li> <li>② 検食と定期給食点検を実施することで、給食を予定通り実施できた。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員室及びHR教室の清潔・安全は達成できたが、今後は生徒が進学のための補習を受けたり、自主的に学習したりするための環境を整えていきたい。</li> </ul>

学校関係者評価
実施日 平成30年2月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の皆さんが真面目に授業を受けていた。生徒の集中力を保てるよう、各先生方が工夫されている様子がわかった。</li> <li>アクティブラーニングやICT活用を、研究委員会を中心にさらに広げてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全日制生徒と定時制生徒の意見交換がすばらしかった。今後も交流を広げてほしい。</li> <li>定時制の指導がとても充実しており、素晴らしい。</li> <li>定時制生徒が退学せずに頑張っているのがよい。生徒への支援事業の更なる活用を。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>熊谷高校定時制課程を、中学生の上級学校訪問先や中学校で開催するの高校説明会の対象に含めていきたい。</li> <li>ホームページは他校と比較しても記事の更新が頻繁に行われており、十分活用されている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の中が大変よく整理整頓されていた。</li> <li>給食は質も高く、生徒の評判も良い。引き続き素晴らしい給食を提供してほしい。</li> </ul>